第一看護学科　小児看護学

目　的　　小児看護の理念に基づき、健康状態に応じた子どもと家族への適切な看護が実践できる基礎的能力を養う。

目　標　１　子どもと小児看護についての基本的な考え方が理解できる。

２　子どもを取り巻く社会環境と健康問題が理解できる。

３　子どもを取り巻く諸制度とその活用について理解できる。

４　育児・保育など家族を含めた看護の支援について理解できる。

５　子どもの健康な生活を送るための養育・看護について理解できる。

６　疾病や障がいをもつ子どもと家族の看護を理解できる。

小児看護学構成図
第一看護学科

- 小児看護学
  - ＜講義＞ 4単位 90時間
  - ＜実習＞ 2単位 90時間
  - 子どもの理解 1単位（15時間）
    - 子どもの成長と発達
      - 成長と発達の一般的原則
      - 形態的成長
      - 精神・運動機能の発達
      - 機能的発達
      - 発達の評価
    - 子どもの日常生活と養育
      - 乳幼児期の基本的生活習得の獲得
      - 乳幼児期の養育
      - 学童・思春期の養育
      - 子どもの遊び
      - 事故防止と安全教育
    - 子どもを知る
      - 子どもを知る
  - 子どもの生活と保健 1単位（15時間）
    - 小児看護の特徴と意義
      - 小児看護の特徴
    - 子どもと家族を取り巻く環境
      - 小児看護と法律・施策
      - 子どもの虐待
    - 子どもと家族
      - 子どもにとっての家族とは
  - 健やかな成長を育む看護Ⅰ 1単位（30時間）
    - 子どもの病気の理解
      - 健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護
    - 地域で暮らす子どもと家族の看護
      - 外来における子どもと家族の看護
      - 在宅における子どもと家族の看護
    - 特別な状況にある子どもと家族の看護
      - 入院生活への適応を助ける看護
      - ハイリスク新生児と家族の看護
      - 活動制限が必要な子どもと家族の看護
      - 検査や処置を受ける子どもと家族の看護
      - 子どもを援助するための基本的看護技術
      - 災害を受けた子どもと家族の看護
  - 健やかな成長を育む看護Ⅱ 1単位（30時間）
    - 子どもに特有な疾患
      - 新生児疾患・遺伝性疾患・染色体異常
      - 代謝・内分泌疾患
      - 免疫・アレルギー・膠原病疾患
      - 感染症
      - 呼吸器疾患
      - 循環器疾患
      - 腎・泌尿器疾患
      - 消化器疾患
      - 血液・腫瘍疾患
      - 神経・筋・精神疾患
    - 急性期にある子どもと家族の看護
      - 主な症状と看護
    - 慢性期にある子どもと家族の看護
      - 慢性疾患をもつ子どもと家族の特徴
    - 手術を受ける子どもと家族の看護
      - 子どもの手術の特徴
      - 術前の心理的準備と身体的準備
      - 周術期の子どもの安全・安楽への援助と家族への援助
    - 救急処置が必要な子どもと家族の看護
      - 誤飲・溺水・熱傷
      - 心肺蘇生法
      - 救急処置が必要な子どもと家族への看護の実際
  - 子どもと家族を知る実習 2単位（90時間）
    - 小児外来
    - 小児病棟
    - 新生児センター
    - 障がい児施設（特別支援学校）

授業科目	子どもの理解	担当教員	専任教員☆ ① 非常勤講師☆ ②梶浦　由美	単位数	1	時期	２年次 ４月～５月
				時間数	１５		

目的と目標	
	小児期の特徴を理解し､子どもの成長・発達に応じた養育について理解する。 1　子どもの特徴と、成長・発達について理解できる。 2　子どもの健康な生活を理解し､それに応じた養育が理解できる。

回数	学習課題	内　　容	方　法	担当教員
1	子どもの成長と発達	(1)成長と発達の一般的原則 (2)形態的成長 体重・身長・頭蓋・頭囲と胸囲・胸郭・脊柱 身体各部のつりあい・生歯・骨の発育 (3)精神・運動機能の発達 神経系の発達・反射・運動機能・言語発達 情緒社会性の発達	講義 GW	専任教員 専任教員
2		(4)機能的発達 ①循環機能 ②呼吸機能 ③消化機能 ④腎機能と水分代謝 ⑤体温 ⑥免疫 (5)発達の評価		
3	子どもの日常生活と養育	(1)乳幼児期の基本的生活習慣の獲得 (2)乳幼児期の養育	GW 講義	専任教員
4		(3)学童・思春期の養育 ①学童・思春期の保健 ②学校保健（スクールカウンセリング） (4)子どもの遊び ①子どもの遊びとは ②子どもの遊びの発達 ③遊びに関わる大人の役割 (5)事故防止と安全教育	講義 演習 講義	非常勤講師 （梶浦 由美） 専任教員
5 6 7	子どもを知る	(1)グループ毎に子どもを知るためのフィールドワークを実施 ①保育園・幼稚園・小中学校 ②フィールドワークの学びの発表	臨地 演習 GW	
8	試験（１時間）	(1)筆記試験	試験	専任教員

評価方法	臨地演習の提出物（30 点）筆記試験（70 点）
教科書 参考文献	小児看護学①　小児の発達と看護（MC メディカ） 小児看護学②　小児看護技術　（MC メディカ） 根拠と事故防止からみた　小児看護技術　（医学書院）
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。 適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。
☆担当教員 の実務経験	①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業を展開する。 ②養護教員として教育機関に勤務した経験を活かした授業を展開する。

授業科目	子どもの生活と保健	担当教員	専任教員☆ ① 非常勤講師☆ ② ③ ④市川百香里	単位数	1	時期	２年次 ６月～７月
				時間数	１５		

目的と目標	
	子どもの健康生活の保持･増進に関わる環境について理解する。 １．小児看護の特徴と意義が理解できる。 ２．子どもを取り巻く社会環境を理解する。 ３．子どもの健康な生活の保持･増進のための家族の意義と社会のかかわりを理解する。

回数	学習課題	内　　容	方法	担当教員
1	小児看護の特徴と意義	(1)小児看護の特徴 ①小児医療の変遷 ②小児看護の変遷 ③小児看護の目標	講義	専任教員
2		④子どもの権利と看護 ⑤小児看護と倫理的配慮 ⑥小児看護の課題	講義	非常勤講師 (　　)
3 4	子どもと家族を取り巻く環境	(1)小児看護と法律・施策 ①子どもを取り巻く社会環境 ②子どもと親を支援するための法律と施策 ③子どもと家族の諸統計 ④乳幼児期の保健 ⑤予防接種	講義	専任教員
5 6		(2)子どもの虐待 ①虐待とは ②虐待の現状 ③虐待の問題点とその背景 ④子どもの虐待と法律 ⑤虐待を発見した場合の対応および援助の実際	講義	非常勤講師 (　　)
7	子どもと家族	(1)子どもにとっての家族とは	講義	非常勤講師 (市川百香里)
8	試験（１時間）	(1)筆記試験	試験	専任教員

評価方法	筆記試験　100 点
教科書 参考文献	小児看護学①　小児の発達と看護　（MC メディカ）
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。 適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。
☆担当教員 の実務経験	①看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②小児看護専門看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ③臨床心理士・社会福祉士として行政機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ④家族支援専門看護師として勤務した経験を活かした授業展開をする。

授業科目	健やかな成長を育む看護Ⅰ	担当教員	専任教員 ① 非常勤講師☆ ②遠渡　絹代	単位数	1	時期	２年次 ７月～10 月
				時間数	３０		

目的と目標	
	あらゆる状況にある子どもおよび家族に応じた看護について理解する。 1　様々な状況にある子どもおよび家族の健康の保持増進、成長・発達を促す援助を理解する。 2　子どもを援助するための基本的技術を習得する。

回数	学習課題	内容	方法	担当教員
1	子どもの病気の理解	(1)健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響と看護 ①子どもの病気の理解 ②病気の子どもの家族のストレスとその支援	講義	専任教員
2 3 4	地域で暮らす子どもと家族の看護	(1)外来における子どもと家族の看護 ①外来看護の特徴 ②外来の機能と求められる看護		
5 6		(2) 在宅における子どもと家族の看護 ①在宅療養を必要とする子どもと家族の看護 ②障がいのある子どもと家族の看護		非常勤講師 （遠渡絹代）
7 8	特別な状況にある子どもと家族の看護（17時間）	(1)入院生活への適応を助ける看護 ①入院時の看護 ②子どもの入院環境と安全管理	講義 演習	専任教員
9		③入院中の子どもと家族への援助	講義	
10		(2)ハイリスク新生児と家族の看護	講義	
11		(3)活動制限が必要な子どもと家族の看護	演習	
12		点滴留置時の固定方法	講義	
13		(4)検査や処置を受ける子どもと家族の看護	演習	
14		(5)子どもを援助するための基本的看護技術 ①体温・呼吸・脈拍・血圧の測定 ②腰椎穿刺		
15		(6)災害を受けた子どもと家族への看護	講義	
	試験（1時間）	(1)筆記試験	試験	専任教員

評価方法	筆記試験　100 点
教科書 参考文献	小児看護学①　小児の発達と看護（MC メディカ） 小児看護学②　小児看護技術　（MC メディカ） 根拠と事故防止からみた小児看護技術　（医学書院）
事前準備や受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。 適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。
☆担当教員の実務経験	①②看護師として医療機関に勤務した経験を活かした授業を展開する。

授業科目	健やかな成長を育む看護Ⅱ	担当教員	専任教員☆ ① 非常勤講師☆ ②小児心臓外科医師 ③小児科医師 ④小児科医師 ⑤認定看護師	単位数	1	時期	2年次 10月～12月
				時間数	３０		

目的と目標	
	健康障害にある子どもおよび家族に及ぼす影響が理解できる。 1　子どもに特有な疾患と特徴を理解する。 2　健康障害をもつ子どもおよび家族に対し、看護の必要性を理解する。 3　子どもおよび家族に疾病の回復、健康保持増進、成長・発達を促すために必要な看護が理解できる。

回数	学習課題	内容	方法	担当教員
1	子どもに特有な疾患	(1)新生児疾患・遺伝性疾患・染色体異常	講義	非常勤講師
2		(2)代謝・内分泌疾患		(　　)
3		(3)免疫・アレルギー・膠原病疾患		(　　)
4		(4)感染症		(　　)
5		(5)呼吸器疾患		
6		(6)循環器疾患		
		(7)腎・泌尿器疾患		
		(8)消化器疾患		
		(9)血液・腫瘍疾患		
7	急性期にある子どもと家族の看護	(1)急性期疾患・主な症状と看護		
8		①発熱時のアセスメントと看護	講義	専任教員
9		②下痢・嘔吐・脱水時のアセスメントと看護	演習	
10		③呼吸困難時のアセスメントと看護		
		④けいれん時のアセスメントと看護	講義 演習	
11	慢性期にある子どもと家族の看護	(1) 慢性疾患を持つ子どもの特徴		
12		①主な慢性疾患の特徴		
		②慢性期にある子どもと家族への看護		
13	手術を受ける子どもと家族の看護	(1)子どもの手術の特徴	講義	
		(2)術前の心理的準備と身体的準備		
		(3)周術期の子どもの安全・安楽への援助と家族への援助		
14	救急処置が必要な子どもと家族の看護	(1)誤飲・溺水・熱傷	講義	非常勤講師
15		(2)心肺蘇生法		(　　)
	(3時間)	(3)救急処置が必要な子どもと家族への看護の実際		
	試験(1時間)	(1) 筆記試験	試験	専任教員

評価方法	筆記試験（専任教員 40 点、非常勤講師４名　各 15 点）
教科書 参考書	小児看護学②　小児看護技術　（MC メディカ） 小児看護学③　小児の疾患と看護（MC メディカ） 発達段階からみた小児看護過程　（医学書院） 根拠と事故防止からみた　小児看護技術　（医学書院）
事前準備や受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。 適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する教科書を読んで講義に臨むこと。
☆担当教員の実務経験	①看護師として医療機関に勤務した経験を活かして授業を展開する。 ②～④医師として医療機関に勤務した経験を活かして授業を展開する。 ⑤小児救急看護認定看護師として医療機関に勤務した経験を活かして授業を展開する。